



# リハチームにご相談ください

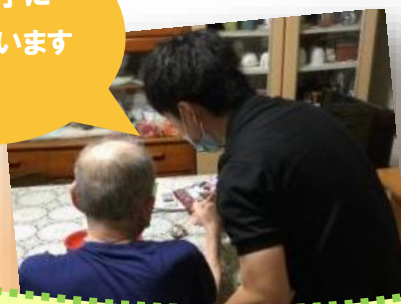
同じご利用者様に対し理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)の3職種が訪問してリハビリを行うことも可能です。多職種で身体、歩行、生活動作、飲み込み、言語も含めた頭の働きなど総合的にリハビリを行います。これにより1職種がリハビリを行った場合よりも**確実に刺激が増え、生活にもいいリズムができ、更なる機能の維持～改善、病気の進行を遅らせるなどのメリット**があります。(例、月曜日:理学療法士 水曜日:作業療法士 金曜日:言語聴覚士 週2~3回)



広い廊下で  
歩きやすい！  
訓練に最適



箸で上手に  
つかめています  
ね！



こんにちは！

あさひ訪問看護リハビリステーションです！

2022.9.5 初秋号

ぐっと！  
力を入れて  
(^▽)/



喉めっちゃ  
いい音！  
(\*^\_^\*)



## 多職種でリハビリを行うメリット

- ① 刺激が確実に増え、良い生活リズムができる！  
 ▶例えば「月曜日に PT さん、木曜日に ST さんがリハビリに来る」という意識ができ、1週間の中でリズムができメリハリがつかます。
- ② 廃用症候群の予防ができ、病気の進行を遅らせる！  
 ▶廃用症候群とは何もしないでいると機能がどんどん低下していくことです。訪問回数が増え、多職種それぞれの視点から刺激を入れることにより、本人の生活の質を維持しながら、家族の介護負担増大を抑制することができます。
- ③ 些細な症状変化に気づき、対応することができる！  
 ▶多職種でリハビリを行うことにより、1職種ではカバーしきれない各専門分野の症状変化に気づき、対応することができます。  
 例、STが飲み込みの具合を見て「先週よりも喉上がりが悪く、喉に飲み物が残りやすい」と判断し、その日のうちに安全な食形態の変更、食事介助方法などを説明した。